

交流・対流の促進に向けた地域ブランド化へのステップアップ

「沖縄、ふるさと百選」

集落部門

32団体

交流部門

25団体

生産部門
41団体

【地域住民】

地域への「誇り」と「愛着」の醸成

- ・地域社会の維持・継承
- ・多面的機能の維持

【県民等】

- ・農山漁村に対する理解
- ・美しい景観の保全
- ・都市住民の農山漁村への憧れ

※各種支援事業を優先的に導入することへの配慮

「都市と農村の共生・対流」

◎21世紀ビジョン実施計画

成果指標: グリーン・ツーリズムにおける交流人口(農家民泊: 4万人→7万人)

認定団体の現状・課題

- ・交流人口の増加につながるPRが十分でない。
- ・地域の魅力や、その他素材が把握できていない。
- ・交流、対流に対するビジョンが把握できていないため、フォローアップ(支援)に至っていない。

ゆがふ認定(仮称)基準の策定

百選の中から、都市と農村の共生・対流に積極的に取り組む団体を「ゆがふ集落」として認定し、称号を有することで地域ブランド化を図るとともに、地域のコミュニティ力を発揮させるため、交流事業に対する支援(ソフト・ハード)を図る。

◎対策「ゆがふ農山漁村認定確立事業」

1. 現地調査・分析: 集落機能の把握や将来のビジョン等について
2. ビジョンの検証: 各業界の有識者から意見を徴収
3. 認定基準の策定
4. 行政支援の整理